

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 藁科都市山村交流センター	指定管理者名 藁科都市交流センター運営委員会
1 履行状況	
<p>(1) 維持管理業務 業務仕様書及び事業計画書に従って管理業務を実施し、警備や清掃等について第三者委託により実施し、各業務とも概ね適切に履行されている。</p> <p>(2) 施設利用者数 指定管理（第4期）3年目、令和2年度の利用者は54,988人で、前年度83,571人と比較して約34%の減となった。これは、新型コロナウイルスの影響で臨時休館となった期間があったことや、カラオケの取りやめ、わらびこマルシェ、わらびこ祭りなどのイベント実施ができなかったことが主な要因であると考えられる。</p> <p>(3) 事業実施状況 自主講座等の事業については、新型コロナウイルスによる休館等の影響で実施できなかったものもあるが、概ね事業計画のとおり実施されている。主催講座は年6回、交流・イベント講座は年18回開催し、延277人の参加があった。</p>	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
<p>利用者や地元町内会の要望から、飾りつけによる季節の雰囲気づくり、お風呂の石鹸をボディークリームに変更するなど、意見・要望に柔軟に対応している。</p> <p>令和2年度はカラオケの再開やお風呂の時間を1時間程度にして欲しいなど、新型コロナウイルスの影響による要望も寄せられた。</p> <p>お土産の販売や駐車場の確保などについては、今後の検討課題である。</p>	
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価	
<p>利用者アンケートを実施した結果、施設の印象については「大変良い」、「良い」という評価（無回答を除く）が96%、また、職員の態度については「大変良い」、「良い」という評価（無回答を除く）が91%となっており、利用者からの要望が多様化する中、利用者の多くにとって満足を得られる施設運営がなされている。</p>	
4 指定管理者の経理状況の評価	
<p>指定管理業務の収支状況については、概ね予算どおりに執行されており、良好である。また、会計帳簿類も整理されており、適正な経理が行われている。</p> <p>デマンドコントローラーの活用や季節に合わせた温度設定の心がけなどにより電気使用量及び燃料費の削減を行い省エネに努めている。</p>	
5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
<p>令和元年度まで利用者は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により施設が休館となったことやイベントが実施できなかったことから、事業計画書に</p>	

記載の目標に届かなかったが、その影響を除けば達成できた可能性が高い。業務においては、感染症対策のため、カラオケなどの娯楽要素を制限しながらの営業となったが、コロナ禍でもできる施設の魅力づくりに努めており、指定管理者の創意工夫が見られた。

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請・協議に基づき、施設の休館、清掃、利用者からの問合せ対応等が適切に行われた。

新型コロナウイルス感染症の対策と、利用者増加への取り組みの兼ね合いが難しいところではあるが、今後も奥藁科、奥大井方面へ向かう道路休憩施設としての役割も担い一層の活用を期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。